

令和7年度 第2回 川崎市地域公共交通会議 議事録

1. 開催概要

開催日時	令和7年9月1日（月）10時00分から12時00分まで		
開催場所	川崎市役所新本庁舎 復元棟2階201会議室		
議 事 （公 開）	(1) 令和6年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について 【報告事項】 (2) 今年度実施予定の協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について 【報告事項】 (3) 今年度実施予定の民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について【報告事項】 (4) モビリティ・ハブの取組について【報告事項】 (5) 自動運転バスについて【報告事項】 (6) 各種分科会報告について【報告事項】 (7) 地域公共交通に係る意見交換 【報告事項】		
出席委員 (13 名)	(敬称略)		
	所 属	氏 名	備考
	東海大学 工学部土木工学科 教授	梶田 佳孝	
	名古屋大学 特任准教授	有吉 亮	
	神奈川中央交通株式会社 運輸計画部長 (一般乗合旅客自動車運送事業者)	井手 正一 郎	代理出席 橋山担当課 長
	川崎タクシー株式会社 代表取締役会長 (一般乗用旅客自動車運送事業者)	関 裕之	
	明生タクシー株式会社 常務取締役 (一般乗用旅客自動車運送事業者)	村岡 孝夫	
	高砂交通株式会社 総務部長	増村 幸一	
	一般社団法人 神奈川県バス協会 専務理事	関上 義明	欠席
	一般社団法人 神奈川県タクシー協会川崎支部 事務局長	大葉 章彦	随行 稲田事務局 長代理
	川崎市全町内会連合会 副会長	川島 要子	
	市民（公募による選出）	坂尾 雅之	
	市民（公募による選出）	谷岡 功一	
	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	森下 文章	
	神奈川県県土整備局都市部交通政策課 副課長	廣野 修一	代理出席 臼井副技幹
	神奈川県交通運輸産業労働組合 幹事	小山 國正	欠席
	神奈川県警察本部 交通部 交通規制課 都市交通対策室長	馬場 広人	欠席
川崎市 建設緑政局 総務部長	櫻井 雅幸	欠席	
川崎市 まちづくり局 交通政策室長	塚田 雄也		
事 務 局	5 名		
傍 聴 者	0 名		

2. 会議内容

以下、進行内容を要約して記載。

- (1) 令和6年度に実施したコミュニティ交通の導入に向けた取組について 【報告事項】
- (2) 今年度実施予定の協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について 【報告事項】
- (3) 今年度実施予定の民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について 【報告事項】

事務局 (資料1により、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、令和6年度に実施した取組について、報告いただきました。様々なエリアでの実験結果等や今後の実験についてご説明いただきましたが、何かご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

有吉委員 かきまる号の外出支援について、7月から12月にかけて外出づくりを実施していますが、実証運行に合わせて実施をしているのでしょうか。

事務局 運行時期に合わせた開催をしています。外出づくりについては、実証実験の取組、運行を知ってもらいたいという思いから開催しているため、他のエリアでも同様ですが、実証実験期間中は会場までの交通手段としてコミュニティ交通を利用してもらえるよう多く開催しています。

有吉委員 実際にかきまる号にのって外出づくりのイベントに参加している方は多いのでしょうか。その様なデータは取っていますか。

事務局 数字としては取っていませんが、市の職員がイベントに参加しておりまして、片平会館前のかきまる号の停留所では、イベントの日時に合わせて会場に来られている方も多くいらっしゃいました。

有吉委員 ありがとうございます。そのようなデータも活用しているんですね。つばめ号の方は始まる前からコンスタントに活動していて、恐らく実験の周知とかプロモーション活動を運行期間のみに限らず早めに実施するのも有効だと思います。

事務局 ありがとうございます。つばめ号の方は地域の皆様が活発に活動していただいて、運行していない時期についてもかなりの回数でことづくりを開催していました。つばめ号の運行、もしくはつばめ号を知っていますというような形で、つばめ号に乗らない周辺地域の方々にもつばめ号の存在をお伝えする場として積極的に発信をしていました。その様な形で今後かきまる号の方も広めていければと考えています。

有吉委員 地域交通のみに関わらず定期的に楽しく出かけていく場所があるということが作られていて、そこに加えて行って帰れる交通に乗れる仕組みが作られている。どちらが先かという地域が目的が先で、それを支える交通という形が成り立っている、是非前向きに進めていただければと思います。

事務局 市としては当初この乗り物に乗ってもらうためにことづくりを開催していましたが、それよりも乗る乗らないに関わらず、地域の方にとってはイベントがあること自体がすごく良い取組であると感じています。イベントを開催するために地域の方々にも奔走いただいているが、その方々の中でもイベントでのコミュニティ、開催する側のコミュニティ等の新しいコミュニティが出来て、当初のバスに乗ってほしいとい

う思いから地域にとって良い効果が得られているのではないかと思います。

有吉委員 ありがとうございます。

梶田会長 ありがとうございます。それぞれの地域で割合は違うのでしょうか。

事務局 実際にはかきまる号の方がイベントのために乗ってこられる方が少し多いように思われます。つばめ号の方は参加人数が多く、開催している方の発信力が強いため、運行沿線以外の方々にも広く参加いただいています。毎回イベントのためにいらっしゃる方もいます。

梶田会長 ありがとうございます。ぜひ今後も続けていただければと思います。他に何がございいますか。

関委員 チョイソコかわさきの実証実験結果ですが、どのような分析をされているのでしょうか。結果を見ると利用されている方が 30、40 代の若い方が多かったりグランツリーという商業施設が多かったり、自分の中の認識にあるコミュニティ交通とは少し違った結果のように思われます。

事務局 おっしゃるとおり、若い方で商業施設での利用が多いことから子育て世代の方に多く利用されたのではないかと分析しています。

関委員 子育て世代の方に多く利用されたということで実験としては成功という認識でよろしいでしょうか。

事務局 成功という表現は難しいのですが、若い方でも高齢の方でもどのように使っていただけるかを模索している段階のため、周知をしっかりと行ってまずは乗っていただくよう進めていきたいと考えています。

関委員 そうすると、一部の交通事業者からは競合のように思われるのではないのでしょうか。

事務局 デマンド交通自体の運賃は 500 円としており、路線バスやタクシー中間程度の金額としています。競合ではなく様々な交通モードを用意した上で、地域の交通を維持していきたいと考えています。チョイソコかわさきに関しては乗車人数等、収支の関係もあり、多くの課題があると考えており、実証実験を通して、各協会の方と協議をしながら競合にならないよう、地域にとってより良い取組になるよう進めていきたいと考えています。

関委員 ありがとうございます。私も長く参加させていただいて、世間一般ではそんなに大きな費用感に思われませんが、厳しい中で模索しながらの運行であることは理解しています。実証実験といえども無駄な予算とならないよう、本当に交通空白になっている、高齢者の方が移動に困っている地域に費用をかけていただけると良いのではないかと思います。

梶田会長 ありがとうございます。色々ご意見も出ておりますが、予算や地域についても検討しながら事業を進めていただければと思います。

有吉委員 実験や施策が誰をターゲットにしているのかを少し整理していただけると良いのではないかと思います。既に出かけている人の移動手段を変えるのか、あるいは出かけたくても出かけられない、移動、外出を諦めている人の移動手段となるのかでだいぶ

違ってくると思います。既に出かけている人の移動手段だと、例えばバスやタクシーで移動されている方がコミュニティ交通やデマンド交通に移る話と、出かけたくても出かけられない人に出てきていただくということは違うと思います。もし新しい移動手段があれば出かけられるのであれば、それを経済化させてみようという目的をもって、あまり出かけられなかった人が出て来られたいうことを指標として図っていき、制度化していくのが良いと思われます。またその実験の成功を見るためにどのくらいコストをかけるのかという話もあると思っていて、報告資料を見ると、地域のコミュニティ交通に関しては収支の報告がありますが、民間主体の取組報告については収支についての報告はないので、少なくともこの期間内にどのくらい需要があったのか、それが実験に見合っているのか等の基礎的な動向を揃えていただかないと、色々な地域で行っている取組を評価することは難しいと思われます。可能な範囲で作業いただいて、交通会議の場でも報告していただけると良いのではないかと思います。

事務局 地域主体という部分と、チョイソコかわさきという事業者主体の部分がありますので、出せる部分と出せない部分があると思いますが、市としては判断する上でデータをいただいていたりもしますので、皆さんにお出しできるように整理を進めていきたいと考えております。

梶田会長 ありがとうございます。それでは他はございませんでしょうか。
それでは続いて、「議事 2、今年度実施予定の協議会を主体としたコミュニティ交通の取組について」及び「議事 3、今年度実施予定の民間事業者による新技術・新制度を活用した取組について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料 2、資料 3 により、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、先ほどのご説明の内容で何かご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

森下委員 つばめ号の補助のページについて、表現の問題と思いますが、「コスト、運行経費」という部分については運行事業者への委託費のことだと思いますが、事業者へかかる費用をコスト呼ばわりするのはあまり良い表現ではないように思われます。事業者の手間にかかる費用に対してコストというと、手間に対する費用をコストカットの対象とするような印象を受けます。受取方によってはそのような考えに至る可能性もあるため表現を変えたほうが良いと思われます。

事務局 ありがとうございます。

森下委員 のる一と KAWASAKI の予約方法について、電話予約を始めるということで、高齢者の方が使いやすくて良いと思います。昨年の実験結果としては 30、40 代の女性が多く、利用目的としては病院が主に挙げられていますが、どのような方がどのように使われているのでしょうか。

事務局 昨年の実験結果やアンケートの傾向を見ますと、利用の多かった 30、40 代の方が高齢の親御様の病院への移動予約をしているケースが多いように思われます。その場合、予約されている方は 30、40 代の女性ですが、実際の乗車では予約された方と親御さんでご利用されています。乗車予約にはスマホの操作が必要であるため、スマホの利用に慣れている娘さんが親御さんの予約をされていると思われます。

スマホの利用については引き続き促進していきたいと考えております。また今年度からは電話予約も始めるため、高齢者の方にも利用しやすくなると思われます。

梶田会長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

谷岡委員 認知の拡大の部分で、ポスターやチラシの広報設置があるかと思いますが、今年度の設置場所の想定はありますでしょうか？

事務局 つばめ号やかきまる号はまだ調整中ではありますが、地元の企業の浸透し、理解が広がっているため、今までのスーパーや商店街さんに加えて個人商店さんに貼らせていただく予定です。

谷岡委員 大体何箇所程度を予定されていますか？

事務局 協議会メンバーの方が主体となって調整を行っておりまして、自治体の掲示板などにも掲示をする予定であるため、10ヶ所を超える程度を想定しています。

谷岡委員 ありがとうございます。

臼井委員 事業を進める中で協賛金という形で支援を募っていますが、どの程度の金額でどのようなプランを提供しているのでしょうか？

事務局 月々いくらという金額で協賛金をいただき、協賛いただいた方々には車両の外装にマグネットボードのような形で大きめの広告が出せるようプラン提案をしています。あとは先ほどありましたイベントを開催する際に、イベントのチラシ裏等に協賛の紹介という形で企業名を出させていただきます。

臼井委員 月々のプランには種類があるのでしょうか？

事務局 金額に差をつけておりまして、プランについても金額に合わせて広告の大きさ等を変えています。

梶田委員 ありがとうございます。あとつばめ号は個人サポーター制度についても導入を予定しているということですが、そのあたりはかきまる号と同じ金額を想定しているのか、それとも個別でプランを検討しているのか、その辺はどうでしょうか？

事務局 個人サポーター制度についてはこのような形で設けている事例が少ないため、あくまで個人の方々のご厚意にお任せをする形で金額設定はしない方針で進めています。

梶田委員 はい、わかりました。ありがとうございます。その他ございませんでしょうか？

大葉委員 それぞれ協賛やサポーターに協力をいただいて実証実験を行っていると思われますが、それによって乗車人数が増えたりお店の利用者数が増えた等の良い影響はあるのでしょうか？

事務局 協賛やサポーターによって明らかに増えたというようなお声はあまりありませんが、停留所付近のお店等でつばめ号に乗ってきたという意見は徐々にいただいています。

大葉委員 協賛やサポーターにとってもメリットがないと継続的な支援は難しいと思われますので、質問させていただきました。

事務局 協賛をすることによってお客様が増えたという声はいただけていませんが、コミュ

ニティ交通の協賛、サポーターの方々に関しては地域交通に関心が高く、地元を支えていくという思いで協力いただけている方が多いように思われます。市の方でも数
字的なものを確認しながら、継続的にサポートいただけるような工夫を検討していき
ます。

梶 田 委 員 はい、ありがとうございます。

坂 尾 委 員 あじさい号の利用者は年間8万人、月間で7000人の乗車数と、非常に恵まれた
環境にあると思っております。その中で、車両の確保、運転手の確保が大きな課題に
感じていますが、今回のコミュニティ交通の取組等ではタクシー協会と連携が取れて
いるということで、とても良い取組と思います。今後この場で他の地域、他都市では
こういった取組を行っている等の情報共有の場に出ればより良い取組になるので
はないかと思います。その様な情報共有についてはいかがでしょうか？

事 務 局 ありがとうございます。本日の会議については、報告事項が多いため議論が出来て
おりませんが、川崎市としては他都市の情報についてもヒアリングを行うなど積極的
に情報を取り入れておりますので、そのような有益な情報を共有し、より良い取組に
するにはどのように取り入れれば良いか等議論していく場にもしていきたいと考え
ています。

（４）モビリティ・ハブの取組について【報告事項】

梶 田 会 長 ありがとうございます。それでは他はございませんでしょうか。

それでは続いて、「議事 4、モビリティ・ハブの取組について」につきまして、事務
局より説明をお願いします。

事 務 局 （資料 4 より、内容を説明。）

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、先ほどのご説明の内容で何かご質問等
ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

関 委 員 イメージ図ですが、モビリティ・ハブにタクシー乗り場はあってもよいのではない
でしょうか？

事 務 局 タクシーを含めた取組を考えております。

関 委 員 ぜひタクシー乗り場も設定をお願いいたします。

事 務 局 川崎市としてもお願いしたい立場ですので、多様なモビリティが必要なため前向き
に検討いただきたいと考えております。

谷 岡 委 員 交通結節点ということで、様々な乗り物への乗換が想定されると思いますが、ナビ
タイムとの連動などはする予定でしょうか？

事 務 局 色々と協議を進める中で検討しております。バスロケーションシステムという形で、
各バス事業者様の運行情報を活用して、どれくらいでバスが来るなどのリアルタイム
な運行情報を表示することで、乗り換えのストレスを軽減できるようなシステムの導
入を検討しております。

橋 山 委 員 民間自立型ということで民間事業者による取組を想定されていますが、モビリテ
ィ・ハブ自体の場所も含めて民間事業者で用意するものでしょうか？バスやタクシー

が停車することを考えるとそれなりのスペースが必要になると思いますが、モビリティ機能のみの自立運営なのか、商業施設等を併設してそれも含めての自立運営とするのか、どのように想定されているのでしょうか？

事務局 様々なパターンがあると考えておりまして、公有地に限らず民地も可能性があると考えています。川崎市側にも適した立地があれば提案し、実証実験等でどのようなパターンが良いのかを検討していく方針です。

橋山委員 市の方から条件を精査いただいて、適した立地に対して実施提案をいただかないと、自立運営は難しいと思われます。

事務局 おっしゃるとおり、最終的には条件を精査し、適した立地を示したうえで民間自立運営型が出来るように目指していますが、まずは実証実験の中でどのような立地でどのような機能が必要になるのかを検討していく方向で考えています。

有吉委員 そのような考えであれば、持続可能な事業方式として資料を整理した方が良いと思われます。

事務局 今後、検討いたします。

(5) 自動運転バスについて【報告事項】

梶田会長 ありがとうございます。それでは他はございませんでしょうか。

それでは続いて、「議事 5、自動運転バスについて」につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料5より、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。これにつきましてご説明の内容で何かご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

坂尾委員 自動運転につきましては安全性、リスク管理が大事であると考えますが、警察の事故情報との連携や確認について、きちんと活かされているかどうかお聞きしたいです。

事務局 今回の取組にあたっては、事前にどのようなリスクがあるか検討しながら進めておりまして、色々なケースが想定されますので、その中でどのように対応するのか検証して進めていきたいと考えています。

梶田会長 昨年度は8日間？

事務局 昨年度は8日間、レベル2での運行を行ってございました。今回は延べ日数140日間での運行を予定しているため、十分にリスク管理をしながら検証を進めてまいります。

(6) 各種分科会報告について【報告事項】

梶田会長 ありがとうございます。それでは他はございませんでしょうか。

それでは続いて、「議事 6、各種分科会報告について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料6より、内容を説明。)

梶田会長 はい、ありがとうございました。それでは、先ほどのご説明の内容で何かご質問等

ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。

関 委 員 川崎市のタクシー乗り場において、バリアフリー化がかなり進んでいる認識ですが、近隣の他都市と比較していかがでしょうか？

事 務 局 数を把握しておらず申し訳ございません。追って確認いたします。

関 委 員 ぜひ調べていただければと思いますが、誇らしい話だと思います。今はまだ横浜市、横須賀市で UD タクシーに対する補助が出ているかと思いますが、川崎市についてもぜひ復活していただければと思います。

事 務 局 川崎市ではかねてより UD タクシーに補助を行い、普及率をあげるべく進めておりました。一方で、今年度からはミニバンタイプの UD タクシーであれば補助が出来るという制度を整えてまいりました。その背景としましては、これまでの乗り合い等の取組から、多くの方が乗り降りできる車両が必要であると考えているためであり、UD タイプに加え、ミニバンタイプの車両を対象に補助制度を運用しています。

関 委 員 我々事業者としては、ぜひジャパントクシー等、間口を広げた補助制度についても検討していただければと思います。

（７）地域公共交通に係る意見交換 【報告事項】

梶 田 会 長 それでは最後ですが「議事 7、地域公共交通に係る意見交換」につきまして、これまでの取組報告を含め、委員の皆様から、ご質問・ご意見等がありましたらお願いいたします。

川 島 委 員 取組に対しては非常に素晴らしく思います。利用者の立場として、幸区在住ですと、他の区よりも公共交通やタクシーを利用する機会は多いように感じます。今後もバスで利用できない場所へはタクシーを利用することが多いと思われますので、その際、コミュニティ交通のような乗合が出来る乗り物があることは非常に良い取組だと思います。ぜひ継続的に進めていただきたいです。

事 務 局 ありがとうございます。今後よりご利用いただくためにもどのような周知が必要か等は地域の方々とコミュニケーションを取りながら進めていきたいと思っています。

大 葉 委 員 自動運転に関して、運転の安全性は目指していますが、ただ目的地までの移動の安全性だけでなく、路上で寝ている人、倒れている人の通報等、地域の見守りとしての役目を網羅するような技術の発展は想定されているのでしょうか？

事 務 局 今時点で明確なルールがあるわけではありませんが、遠隔化することで、車内外のカメラより感知し、通報等を行うことは今後検討が必要と思われます。感知した上でどのように対応していくのか、今後ルールの精査は必要と考えています。

有 吉 委 員 無人運転について、おっしゃるとおり、タクシーやバスの運転手さんの役割は運転だけではないので、その場で対応しなければいけない事例に対して遠隔対応できるような制度作りが必要だと思います。

梶 田 会 長 はい、ありがとうございます。また色々な視点から意見交換をしながら、議論を進めてまいりたいと思います。

それでは、報告事項 「地域公共交通に係る意見交換」については、以上といたし

ます。

本日の議事は以上となりますが、その他、皆様からご連絡事項等がありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

事 務 局 梶田会長ありがとうございました。

本日は報告事項 7 件の議事につきまして、円滑な進行にご協力いただき、改めて委員の皆様にお礼申し上げます。また、本日は梶田会長におかれましては、議事進行頂き誠にありがとうございました。

今年度につきましては、引き続き各地区への支援の取組を進めるとともに、新技術・新制度を活用した取組を展開することで、コミュニティ交通の充実を図り、より利用しやすい地域公共交通環境の形成を目指してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、次回の本会議につきましては、開催時期は未定となっておりますけれども、詳細が決定次第、皆さまにご案内をさせていただきます。尚、本日の議事録につきましては、事務局にて作成をさせていただきますして、本市のホームページ上で公開させていただきます。以上で、令和 7 年度第 2 回川崎市地域公共交通会議を閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。